

うしとし
2009年は丑年。丁寧な絵付けて、
かわいい丑たちが勢ぞろい

陶房では多田さん親子の手によって、さまざまな
作品が作り出されています。年末には色鮮やかな
干支の作品が年明けを待っています。

主な内容

- 新年のごあいさつ 2
- 市制について考えてみよう① 4
- 議会視察報告 6
- あなたの健康づくりを応援します 7
- ご存知ですか?ハンドルキーパー運動 14



迎春



新たな年を 迎えて



野々市町長
栗 貴章



野々市町議会議長
大東 和美

あけましておめでとうございます。

平成21年の新春を迎えるにあたり、皆さまにはご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、平素より町政の推進に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、食の安全を脅かすような偽装や有害物質の混入、増大した振り込み詐欺やアメリカ発の金融不安、さらには世界各地での自然災害の発生、東北地方を襲った大地震、県内でも集中豪雨による浅野川の氾濫など暗いニュースが多い中、北島康介選手ら日本人選手の大活躍に心が踊った北京オリンピックやノーベル賞を4人の方が受賞するなど大きな夢を与えてくれた年もありました。

本町におきましては、9月に「いしかわ国際交流フェスティバルin野々市」が開催され、留学生をはじめ国内外から多くの皆さんにご来場いただきました。また、12月には、多くの皆さんのご協力のもと東京有楽町で「野々市物産展」を開催することができました。ご尽力賜りました皆さんに心からお礼申し上げますとともに、今後とも、これらの交流や活動を通して、本町の魅力を内外に発信してまいりたいと思っております。

次期国勢調査を来年に控え、5万市制実現も現実的となつてまいりました。新たな総合計画の策定準備も本格的に動き出しています。今年早々にも町民の皆さんにアンケートをお願いし、皆さまの声を反映した計画にし

あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年はいよいよ、本町の推計人口が念願の5万人を達成する見込みであります。古来、交通の要所である本町が、新しい文化の発祥の地となることは歴史的にみても間違いないでしょう。市制が施行され、どのような新しい文化が誕生するのか楽しみです。昭和32年当時、町の人口は8千人余りでありました。以来、多くの町外、県外、あるいは、海外の人たちに本町が選ばれ移り住んでいただいています。

新春を迎えるのはじめの出初式にはじまり、3月には春を告げる「椿まつり」。夏には「じょんからまつり」。秋は、「マナビイフエスタ」。スポーツ大会、運動会など、町には多くの行事がありますが、どれをとりましても町民の皆さまの活躍・協力がなければ成り立ちません。

町内会の皆さんには「子どもたちの見守り隊」の結成や、ののいちつ子を育てる町民会議の皆さんには「携帯電話を持たせない運動」など、子どもたちを未然に犯罪から守ろうと、青少年の健全育成のためにご尽力いただいております。

また、地域の里親制度（アダプトプログラム）により、企業や地域の方々に歩道の除雪や、街路樹の水やり、落ち葉の掃除などのボランティア活動

たいと考えております。

また、市制に向けての定住化促進策や教育環境の充実、中小企業振興も含めた地域振興策、地域交通網の整備、野々市ブランドの創設など各種の施策を着実に実行してまいりたいと思っております。

昨今の社会経済情勢から、まだまだ厳しい財政状況が続くことが予想されますが、歴史、文化、産業など本町の地域資源を充分に活用し、賑わいの創出と活力ある野々市町、安全で安心して暮らせる野々市町をこれまでにも増して発展させてまいりたいと思っておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が町民の皆さんにとりまして、希望に満ちあふれ前途洋々たる素晴らしい一年となるようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

をしていただいております。ほかにも多くの方々に、町を守り、支えていただいております。本当にありがとうございます。

5万都市といいましても、この町を「ふるさと」として愛してくださる皆さまがいればこそ、野々市町の発展はあります。今、市制施行で新たな歴史の一ページが刻まれようとしています。さらなる町の発展と町民の福祉の向上、生活の安定を図るため、議会としましても議員一丸となって全力で取り組んでまいります。今後とも皆さまのご協力をお願い申し上げますとともに日ごろのご協力に感謝を申し上げます。

本年が、町民の皆さんにとりまして、よき年になりますことをお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。

2008年町の主な動き

- 1月 町花木『椿』を活用したブランド酒の開発スタート
- 2月 町体育協会50周年式典
平和市長会議に加盟（県内で初）
- 3月 家庭教育指針「ののいち元気3力条」策定
町障害者基本計画策定
- 4月 市制準備室開設
新副町長に田中氏、新教育長に村上氏就任
ブランド酒椿酵母、分離に成功
スクールバス運行開始
姉妹都市ギズボーン市から訪問団を受け入れ
御経塚遺跡出土品約1万点を町文化財に指定
手取川、高橋川、安原川の洪水ハザードマップ作成
中央公民館で富樫氏の史料の常設展示開始
- 5月 金沢市との新たな災害時応援協定を締結
当町出身「矢舗」大相撲夏場所で序の口全勝優勝
- 7月 中小企業振興基本条例施行
JR野々市駅開業40周年記念式典
姉妹都市ギズボーン市へ訪問団を派遣
- 8月 じょんからまつりでじょんOh！からコロッケ配布
野々市小学校施設整備事業に係る特定事業契約の締結
- 9月 県警交通機動隊新隊舎竣工（二日市町）
いしかわ国際交流フェスティバルin野々市を開催
北陸新幹線建設工事着工（郷町）
- 10月 初の女性教育委員誕生
大乗寺開山徹通義介禅師700回御遠忌記念植樹
中国深圳小学教育交流訪問団を派遣
- 11月 のつティのルート一部変更
JR野々市駅北口駐車場運用開始
- 12月 町単独では初の観光物産展を東京・有楽町で開催
放課後児童クラブ「つばきクラブ」竣工（本町4丁目）



野々市のさらなる発展を目指して！

野々市町は単独市制を目指しています。「単独市制」「5万都市」いういた言葉は皆さんも耳にしたこと、目にしたことはあるのではないかでしょか。町では、今年度から市制準備室を設置しました。では、どうなると市になるのか、町と市の違いについて知っていますか？今回を一回目として、皆さんに抱いている疑問、町として伝えたいことをシリーズでお届けします。

今回は市制の要件です。市になるためには、「地方自治法」、「石川県市制条例」、総務省通知「市制施行協議基準」に定められた要件をすべて満たす必要があります。これらの要件と町の状況を紹介します。

地方自治法(第8条第1項)

市制の要件	野々市町の状況
人口が5万人以上であること (国勢調査などの全国的な人口調査で集計された人口が使われます)	県が発表した平成20年11月1日現在(平成17年国勢調査の結果を基に推計)の推計人口は、49,727人であり、月平均で70人程度増加しているため、平成22年国勢調査では5万人を超えるものと予想されます ※人口については次回詳しく説明します
中心の市街地とされる区域内にある戸数が、全戸数の6割以上であること	おおむね満たしていると思われますが、今後調査を進めていきます
農林水産業以外の産業の従事者とその家族の合計が、全人口の6割以上であること	平成17年国勢調査では、77.5%であり、6割を超えています
県の条例で定める都市的施設、その他の都市としての要件を備えていること	県条例の要件については、次ページのとおりですが、ほぼ要件を満たしているものと考えています

総務省通知「市制施行協議基準」

市制の要件	野々市町の状況
将来発展性のあること(地勢、人口増加の状況、産業、交通、将来の都市建設計画)	金沢都市計画圏に属し、有効な土地利用を図っています。町の面積1,356haのうち950haを市街化区域に指定し、各種の開発が進められています。この結果、多くの産業の進出と人口増加が続いています

※地方自治法や県条例と内容が重複するものは省略しています。

石川県市制条例

市制の要件	野々市町の状況
主要官公署がおおむね他の市に匹敵し得る程度に設けられていること	県内他市と比較しても遜色ないものと思われます
高等学校および公私立の図書館、博物館、公会堂または公園などの文化施設の大部分が設けられていること	大学、高等学校があり、文化会館をはじめ、町立図書館、中央公園などがあります
公営または私営の上水道、下水道または塵芥処理場が設けられていること	上水道普及率 96.9%、公共下水道整備率 76.6%となっています。また、流域下水道および塵芥処理施設は近隣自治体と共同した広域施設として設置・運営しています
軌道またはバスなどの交通施設が整備されていること	JR 西日本と北陸鉄道の2本の鉄道、加賀白山バスなどの民間バス路線、コミュニティバス「のっティ」が運行されています
銀行、会社、工場等が相当数設けられ、その数および規模が他の市に比しておおむね遜色がないこと	県内他市と比較しても遜色ないものと思われます
病院、診療所、劇場、映画館等が相当数設けられていること	4 病院 45 診療所のほか映画館などがあり、県内他市と比較しても遜色ないものと思われます
都市計画事業が施行されていることおよび主要幹線街路の舗装等街路施設がある程度整備されていること	区画整理、街路、公園、公共下水道などの都市計画事業に積極的に取り組んでおり、主要幹線街路も完成に近づきつつある状況です
住民の担税力その他市としての財政力が他の市に比して劣らないと見込まれること	自主財源比率は県内でもトップクラスを誇り、県内他市と比較しても遜色ないものと思われます

次回は、野々市町の人口についてお知らせします。

問い合わせ 市制準備室(総務企画課内) (☎ 227-6028)

市制を目指す、新たな総合計画策定のため、アンケートにご協力ください

現在、町では、平成12年度に策定した「総合計画21」(計画期間..平成13~22年度)に基づき、「まちづくり」を進めています。平成23年度からは新たな「総合計画」がまちづくりの指針となります。この計画は、市制を目指す町の将来を展望し、進むべき方向を定め、実現に向けた方策を示すものです。(計画期間..平成23~32年度)

計画の策定にあたり、町の現状を把握し、課題を克服し、将来あるべき「まちの姿」を明確にする手助けとするため住民アンケートを行います。

アンケートは、1月20日~31日を調査期間とし、調査票を無作為に抽出した4,300人の方(一般向けと高校生・大学生世代向けの2種類)に郵送します。記入の仕方など詳細は調査票をご覧ください。このほか学校を通じ、中学生対象のアンケートも行います。

これからのが「まちづくり」には、これまで以上に皆さんのご理解とご協力が必要となります。よろしくお願いします。

議会だより

議会運営委員会行政視察報告

委員長 無量井 次歲

11月5日から7日にかけて滋賀県甲賀市議会、三重県伊賀市議会、愛知県長久手町議会、愛知県三好町議会へ行政視察を行いました。

滋賀県甲賀市

甲賀市は、人口95,946人、面積は481.69km²、京阪神のベッドタウンとして都市化が進行しています。今後の施策展開において、定住促の環境整備、就業機会の創出、地域イメージアップなどを図ることにより、平成26年の総人口の見通しを10万人とし、都市の形成を図っています。

三重県伊賀市

伊賀市は、人口101,813人、面積は558.17km²、京都・奈良や伊勢を結ぶ交通の要所として、また近年では丘陵地等を開発し、住宅団地なども形成されています。

甲賀市議会では、本会議中継をケーブルテレビとインターネットにより、ライブ配信、それから録画配信を行っています。公共施設では序

舍と市内の4支所の住民サロンで視聴できます。インターネット配信は平成18年9月から開始し、積極的にケーブルテレビやインターネットで本会議の公開を行い、市民には良い評価を得ています。

愛知県長久手町

長久手町は、人口47,775人、面積は21.54km²、名古屋市の東側に隣接し、交通の便に恵まれた快適な環境を整えた住宅都市で、ますますの発展が期待されます。

長久手町議会では、町民に分かりやすい議会になるよう一般質問は一問一答で行われています。議員1人60分の持ち時間で質問と答弁が繰り返されます。会派代表質問は、一般質問と同じ持ち時間で、3月予算、9月決算の定例会で行われています。

愛知県二好町

三好町は、人口57,424人、面積は32.11km²、愛知県のほぼ中央に位置し、東に豊田市、西に名古屋市を控え、立地条件を生かした積極的な企業誘致を背景に、目覚ましい発展を遂げています。

極的な企業誘致を背景に、目覚ましい発展を遂げています。

同じ年の5月に「市制検討特別委員会」を設置し、総合的な調査研究を行っています。平成18年5月には、町民による自主的なまちづくり活動への支援と計画的な施設整備の総合



伊賀市

的な調査研究を行うために「まちづくり特別委員会」を設置し、平成19年2月に提言書、平成20年2月に調査報告書を議長に提出しています。議会では、町の進める市制施行準備スケジュールに併せて調査を行っています。また、町は現在、平成22年1月4日の市制施行に向けて、新市の名称について、同じ名称である徳島県三好市の了解が必要であり協議を行っています。

今回の視察調査では、さまざまな観点から成果を得ることができました。今後の議会活動に反映していきたいと考えています。

あなたの健康は大丈夫ですか？

生活習慣を見直し、健康診断は必ず、受診しましょう

健康づくり推進員もお手伝いします

健康づくり推進員とは？

地域の健康づくりの推進を目的に、各町内会から推薦された方を町が委嘱しています。任期は2年間です。

主な活動は？

- ・健診などの受診勧奨やPR活動
- ・地域の保健に関する状況の把握と連絡
- ・健康づくり推進のための学習と実践、そして知識の普及

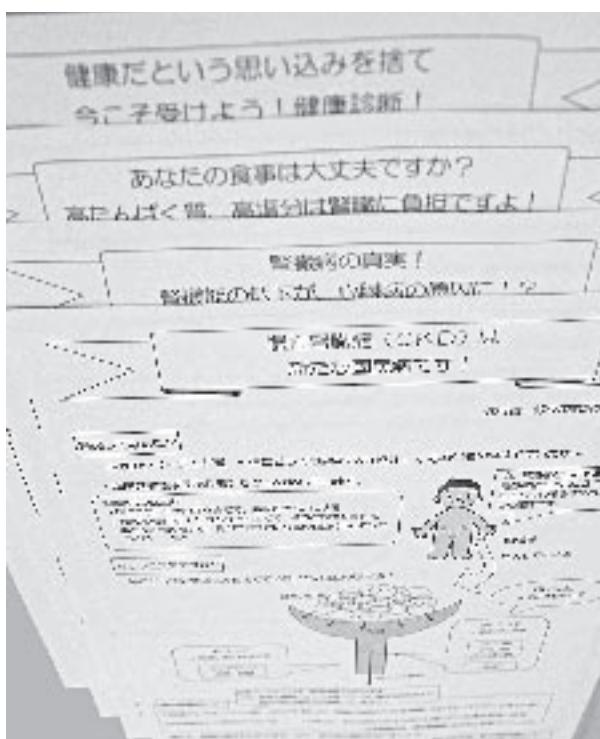
などです。



今年のテーマ「慢性腎臓病」

野々市町では特定健診（※）が実施される前は地域住民への受診券の配布を推進員が行っていましたが、今年度から、配布が郵送となり、地域住民と直接話す機会が減るのではないかと危惧されました。そこで、昨年度から健康づくり推進の学習と知識の普及活動に力を入れています。

※今年4月から実施。従来の基本健診から生活習慣病予防やメタボリックシンдро́ムに着目した健診制度



町会でチラシの配布・回覧の希望があれば、健康づくり推進員が保健センターまでご連絡ください。また、保育園を通じて若い世帯へも配布します。

問い合わせ 保健センター (☎248-3511)

健康づくり推進員さんからのコメントです。

「一番きっかけは？」

前任者の代わりに。町会から依頼されて。

「一番大変なことは？」

地域に思いを伝えること。

「一番伝えたいことは？」

自分の体を大切に。早期発見早期治療を心がける。推進員になり、自分自身の健康意識が高まりました。

「食生活改善推進員、母子保健推進員の活動についても今後お伝えしていきます。」

12月3日には保健センターで、健康づくり推進員と食生活改善推進員、母子保健推進員が合同で研修会を開催し、情報交換を行いました。そして、4枚目のチラシ「健診を受けましょう」を作成しました。

食生活改善推進員、母子保健推進員の活動についても今後お伝えしていきます。

「コメントです。

「町民に分かりやすく伝える」ことは推進員の悩みの種でした。これを解決できるよう、チラシの配布方法などを話し合い、学習会の中で予防のポイントを4つに絞り、チラシを作成しました。

12月3日には保健センターで、健康づくり推進員と食生活改善推進員、母子保健推進員が合同で研修会を開催し、情報交換を行いました。そして、4枚目のチラシ「健診を受けましょう」を作成しました。

食生活改善推進員、母子保健推進員の活動についても今後お伝えしていきます。

議会活動

11月16日～12月15日

■11月

- 18～19日 県町村議会議長会全国大会
20日 教育福祉常任委員会
26～27日 国会要望
28日 産業建設常任委員会
議員総会

■12月

- 2日 全員協議会
3日 意見書等調整会議
5日 議会運営委員会
5日 第6回（12月）町議会定例会
8日 開会
15日 定例会（一般質問・質疑）
12月 総務常任委員会

総務大臣表彰



仲川 輝美 氏（本町5丁目）

多年にわたり、調査員として労働力調査事務に貢献される。

ご寄附

ありがとうございます

■町福祉基金へ

▽井上昇様（清金3丁目）から 100万円

▽土肥利行様（下林4丁目）から 50万円

■町社会福祉協議会事業基金へ

▽町立生活学校様から 5千円
▽町立図書館様から 1万782円
▽町グラウンド・ゴルフ協会様から 2万3千350円

▽全国北誠会様から 1万7千755円

ののっこ太鼓「小嵐」第11回日本太鼓ジュニアコンクール石川大会団体特別賞受賞



11月23日（祝）、七尾市で行われた大会で、町内の小学生26人が活動する太鼓サークル「小嵐」が見事に初入賞を果たしました。

お正月のメニュー

伝統の味に一工夫「ソフトもちのお雑煮」

考案・調理：食生活改善推進員

白玉粉にジャガイモを加えた柔らかいおもちです。

材料（4人分）

ジャガイモ(小1個)	100g	だし	3カップ
白玉粉	100g	酒	大1 1/3
水	120cc	塩	ひとつまみ
鶏もも肉(1/4枚)	40g	しょうゆ	小2
ホウレンソウ(4株)	80g	片栗粉	大1 1/3
ニンジン(薄切り)	8枚	水	大1 1/3

作り方

- ①ジャガイモは皮をむいてやわらかくゆで、すりこぎでつぶす
- ②白玉粉と水を混ぜ①と練り合わせる。8個の円盤状にまとめる
- ③鶏肉は小さく切る。ゆでたホウレンソウは粗く刻み、ニンジンはゆでて花形に切る
- ④鍋にだしを煮立て鶏肉を入れる。煮立ったら調味料を加え、水溶き片栗粉でとろみをつける
- ⑤たっぷりのお湯で②をゆで、浮き上がってから1分ほどたら④へ入れ、ホウレンソウとニンジンを加えて器に盛る



※鶏肉が食べにくい方は、ひき肉をやわらかく練って鶏団子にしてみても

健 康 通 信

インフルエンザ



病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。

3 適度な温度・湿度を保つ

ウイルスは低温、低湿を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空气中を漂っています。加湿器などで室内の適度な湿度50～60%を保ちましょう。

4 外出後の手洗いとうがいを忘れずに行う

手洗いは接触による感染を、うがいはのどの乾燥を防ぎます。

5 マスクを着用する

予防にはマスクが有効です。インフルエンザにかかった人では、咳やくしゃみから他の人に感染するのを防ぐ効果もあります。

インフルエンザと普通感冒、いわゆる「かぜ」は原因となるウイルスの種類が異なります。通常の「かぜ」はのどや鼻に症状が現れるのに対し、インフルエンザは急に38～40度の高熱がでるのが特徴です。さらに、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。また、気管支炎や肺炎を併発しやすく、重症化すると脳炎や心不全を起こすこともあります。体力のない高齢者や乳幼児などは命にかかることがあります。

☆インフルエンザにかかつたら

水分や栄養をとって安静にすることはもちろんですが、通常のかぜとは違いますので、熱が出たらできるだけ早く病院に行つて治療を受けましょう。

(参考) インフルエンザの基礎知識
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/file/File.html>

☆インフルエンザの予防には

1 栄養と休養を十分とる
体力をつけ、抵抗力を高めるこ

とで感染にくくなります。
2 人ごみを避ける

問い合わせ 保健センター

(0248-3511)

運動で丈夫な骨づくり

町内で介護認定を受ける理由に、「転倒による骨折」があります。高齢者では、ちょっと転んだだけでも骨折してしまう人が多いようです。

骨は、ただカルシウムを摂つても、増えるわけではありません！

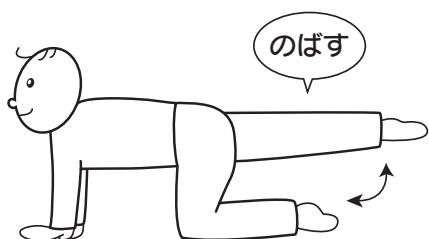
骨に大きい力を加える(押す・引っぱる・曲げる・ねじる等)と、それに応じて骨の量が増えるという仕組みになっています。同時に、運動で血の流れがよくなることで、骨がたくさんつくられます。

つまり、体を動かさないでいることにより、骨自体が弱ってしまうのです。また、背骨の骨折により背骨が曲がる人も増えています。

運動を行い、丈夫な骨づくりをしていきましょう！

からだの おたつしや 体操 … ⑩

〈足上げ運動〉
お尻や背中の筋肉を鍛えます。



左右交互に10回、2セット行いましょう。

問い合わせ

地域包括支援センター
(0227-6067)

カメラあちこち

まちの話題、あんなこと、こんなこと。



←講師の西村邦子さん（中央で頭巾をかぶっている方）に確認しながら手際よく作業を進める参加者

↓画像は桶に材料を重ねたもの。こうじをのせ、重石をし、（軽めの重石から二晩ほどで重く）5日後には完成します



伝統の味を受け継ごう

大根寿しの作り方教室

12月に入り、女性センターでは毎年恒例となった大根寿し教室が開かれました。講座は4日と9日の2回シリーズで、初回は大根の仮漬け、2回目は本漬けと簡単なこうじの作り方を学びました。

講座はいつも大人気で、定員の倍以上の応募があります。抽選をとおった、大根寿し作りは初めてという方や最近は作っていないという方など24人が受講しました。

講師を務めた西村邦子さんによると、大根寿しを上手に作るポイントは①おいしいこうじを作ること②漬ける時の塩加減 ③漬ける時の気候 だそうです。

参加者からは「みんなで作ると楽しい」「出来上がりが待ち遠しい」「こうじの作り方が分かったので自分でも作ってみたい」などの声がありました。



目標を定め、将来への飛躍を誓う

立志式

12月1日㈪、文化会館を会場に立志式が挙行されました。町内の中学2年生410人が対象となり、次代を担う若人が将来への新たな一歩を踏み出しました。

粟町長からは「周囲への感謝の心とチャレンジ精神を忘れずに」とエールが送られました。生徒を代表して湧川直紀君が「自覚を持ち、目標に向かって日々努力することを約束します」と力強く誓いの言葉を述べました。

式典後は、金沢大学地域連携推進センターの浅野秀重教授による記念講演も行われました。

6人の選手がつないだ、タスキと思い

第6回石川県市町対抗ふるさと駅伝

11月30日(日)、加賀温泉郷長距離コースにおいて大会が開催されました。

悪天候の中、選手全員が全力を尽くしてタスキをつなぎましたが、結果は入賞まであと1歩の第9位に終わりました。

しかし、第4区で五郎谷俊選手(遊学館高校1年)が野々市町としては初めて区間賞を獲得するなど、来年への飛躍が期待されます。

荒天の中、沿道の声援を受け、スタートを切った中学生女子→



地域のお年寄りをあたたかい心で守ろう

給食サービスを活用した防犯・交通安全の啓発活動

11月21日と28日、一人暮らし高齢者への給食サービスに合わせ、防犯・交通安全チラシや交通安全グッズを配り、注意の声掛けをすることで、被害防止を図りました。

配布されたのは、振り込め詐欺への注意喚起や交通事故抑止を訴えるチラシやテッッシュ、夜間事故防止に役立つ「反射タスキ」です。

食生活改善推進員が、心のこもったお弁当を作り、そのお弁当とチラシ、グッズを民生委員児童委員が届けました。安全を願う温かい気持ちがきっと伝わったことでしょう。

学ぶことからまちづくりへ

第1回後期コミュニティ・カレッジ

11月14日(金)から本年度後期のコミュニティ・カレッジがスタートしました。この日のテーマは、国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長あん・まくどなるど氏(カナダ出身)を迎えて、「外国人から見た日本人」。日本人の、自然の限界を越えた現代生活や、能登の里海・里山について講義されました。近郊の大学の先生や有識者を招いた講座は3月まで月に2回程度開催されます。

講義後も場内外で講師との会話で盛り上がりいました→



野々市は学びのキャンパス

放送大学石川学習センター移転記念式典

町内には3つの大学があります。金沢工業大学、石川県立大学、そして、金沢工業大学敷地内にある放送大学石川学習センターです。センターは8月に移転し、その記念式典と祝賀会が12月7日(日)、盛大に行われました。千葉県の本校から石弘光学長も前日の記念講演会から来町し、設備が充実した石川学習センターの門出を祝いました。放送大学は社会人のための大学です。自分の生活や仕事をより豊かなものにするため、この身近な大学の門をたたいてみましょう。

←テレビ・ラジオのほかに、このように面接授業も行われています

みんなのひろば

掲載ご希望の方は…広報情報課（☎227-6056）

かがやくひとみ

「自分たちで米作り」

つばき保育園



今、食育がブームになっています。わが園でも、これまでにいろいろな野菜を栽培してきました。今年は、年長組が毎日食べるお米を自分たちで作りたい、という思いからバケツ稻の栽培に取り組みました。

すべての工程を昔ながらの手作業にこだわり、収穫したお米は、おにぎりにして食べました。どの子もあらためて白米のおいしさを痛感し、笑顔がこぼれています。

残ったわらで、理事長先生がしめ縄を作ってくれました。このしめ縄は秋祭りのみこしに飾られました。

また、12月に行われた表現会では、「お米作り」を和太鼓と踊りで表現しました。お米作りは、昔の人の知恵や自然の恵みに感謝する、よい機会となり、すてきな発見や気づきを与えてくれました。

創立30周年を迎えた玄関には、年長組のしめ縄が飾られ鏡餅には、自分たちで作った干し柿を置き、新しい年に彩りを添えてくれました。

今年も良い1年になることを予感させてくれています。

貯蓄性で選ばれてます
ソニー生命の
学資保険

100 満期学資金
プラン

*返戻率111.8%

個別
月払
保険料
4,140円×18年=89万4,240円

払込保険料累計
資料のご請求は…広報「のいち」を見たと言ってください。
フリーダイヤル 0120-012-515

ソニー生命保険株式会社 金沢支社
〒920-0856 金沢市昭和町16-1 ヴィサージ17F
電話076-265-6300(代)

担当ライフプランナー 木村 義直 大谷内 康志
5年ごと利差配当付学資保険 18歳満期II型 契約者30歳男性、被保険者(お子様)10歳。商品の概要を説明しています。詳しくは商品パンフレット、「ご契約のしりり・約款」、保険金の支払対象となる事由及び支払条件につきましては、「契約概要」「注意喚起情報」を必ずご覧下さい。

保険期間・保険料払込期間18歳まで。中学～高校～大学・短大等進学時の教育資金を総合的にご準備頂けるI型もあります。保険期間中にご契約者様が万一の場合、以降の保険料払込は不要です。保険期間中に被保険者(お子様)が万一の場合、死亡給付金(既払込保険料相当額)をお支払いします。*返戻率=学資金総受取額÷払込保険料総額×100(小数点第2切り捨て)

『もしも』の時の安心と信頼

会員募集中 フューネラル俱乐部
JAのいちコスモスの会

JAL指定ホール フューネラルホール 天祥閣

野々市町矢作2丁目111番地 電話(076)294-4141

フリーダイヤル **0120-800-448**
URL <http://www.tensyoukaku.co.jp>

スピード
給付の
県民共済

こども型
総合保障型
熟年型
新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は
0120-63-5011
076(263)5011(代) 076(263)5107
共済取扱団体/石川県認可 石川県民共済生活協同組合
〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F
ホームページアドレス <http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/>
携帯電話からこちらへ <http://kyo-sai.jp/>

広告欄



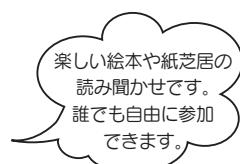
発明家になりたい
森 帆香さん
野々市小2年

わたしの夢



リーダーになりたい
高西 凌雅くん
富陽小2年

オススメの本



● 今月のおはなし会

とき 1月10日(土)、24日(土)
11:00から
ところ 児童図書コーナー

● 今月の展示図書

テーマ 『“女性力”』

※期間中の展示図書の貸し出しができませんので、予約をお願いします

町立図書館

野々市町本町2-14-6 (☎248-8099)
開館時間 10:00~19:00
(土日は17:00まで)
休館日 毎週月・祝日

図書館お役立ち情報：図書館では、紙芝居（約400点）、雑誌（約40種）、新聞（6紙）も所蔵しています。

● 子ども向け



『ぼくのシチュー、ままのシチュー』

ほりかわ りまこ／ぶんとえ
くまちゃんが、シチューをつくります。ざいりょうは、紙とクレヨンと、はさみ。りんごに、野菜に、魚に自動車…くまちゃんの大好きなものがいっぱい入ったすてきなシチューです。

● 大人向け



『なぜ本屋さんでトイレに行きたくなるのか』

高橋恭一／著
行列を見ると、なんとなく並んでしまう。「10回クイズ」についひっかかってしまう。なぜ…？みんながずっと、変だなあ、と感じていた疑問に、心理学的な側面からアプローチすれば、意外な答えが見えてくるかも。



母親クラブの活動が子育てに一役

本町児童館ふれあいクラブが、全国地域活動連絡協議会（みらい子育てねっと）から、多年の功績に対し表彰を受けました。大型のおもちゃを20年以上作り続けてきたことが評価されての受賞です。作ったおもちゃは、児童館の行事で使用しています。

クラブの方は「これからも、子どもたちのために、地に足をつけた活動を続けていきたいと思っています」と話してくれました。

Topics

「ハンドルキーパー運動」って知っていますか。

年末年始はお酒を飲む機会が特に多くなる時期です。
お酒を飲んでからの運転は絶対にしないでください。

ハンドルキーパー運動とは、自動車で仲間と飲食店などに行く場合、仲間同士でお酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人は仲間を近くの駅やバス停に送り届けたり、迎えの方や代行運転の担当者に鍵を渡したりなど、飲食店の協力を得ながら、仲間に飲酒運転をさせない運動です。ハンドルキーパーにはハンドルをキープ（握る）し、仲間の命をキープ（守る）するという意味が込められています。



野々市町においても、重大事故に至らないまでも、飲酒運転や、飲酒運転に絡む事故が後を絶ちません。

このたび、交通安全協会を中心に、ハンドルキーパー運動を全町的に取り組むこととしました。この趣旨に賛同していただきて、お酒を楽しむ側、お酒を提供する側、双方の立場から運動を実践し、あるいは協力し、飲酒運転根絶に努めましょう。



運転するときは絶対に飲まない。勧めたり、見過ごしたりも同罪です。

リレー方式で町民の方々を紹介しています

“いきいき” ののいち 人 ③



座右の銘は「継続は力なり」こつこつ努力して積み上げたことに価値があります

安中 秀行さん／清金

野々市町で暮らしてどうですか？

ずっと住んでいますが、歴史と新しさが共存する住みやすいまちです。多くの人が気軽にふれあえる、より安全なまちになれば良いですね。

広報についてのご意見は？

文字が大きくなり、写真なども増え読みやすくなりました。豆知識的な内容もあり、勉強になります。

自分の性格を一言でいうと？

明るく、生真面目で普段は楽天家です。ちょっとせっかちなところもありますね。細かいことにはくよくよしませんが、出しゃばっちゃうことも…

リフレッシュ方法は？

中高から陸上を続けていますが、軽いジョギングなど体を動かすことです。バスケットの3Pシュートを打っていて、たまにポンポンと連続で入りだすと気分爽快になります。

目標としていること

町陸上協会の理事長をしていますが、仲間と誰もが気軽に参加できるような陸上教室を定期的に開催したいです。参加者募集もですが、受け入れられる体制づくりを大事にしていきたいです。

戸籍の窓

H20.11.16～H20.12.15受付分

■ 11月末現在の人口

	()は前月比	
人 口	44,949人	(+ 43)
男	22,519人	(+ 9)
女	22,430人	(+ 34)
世帯数	18,540世帯	(+ 19)

■ 11月中の人の動き

転入	222人
転出	199人
出生	41人
死亡	21人

※住民基本台帳に記載されている数字
です

たかさご

小堺 下山
陸渡りくと 紗みわ
希き希き 奈緒子
希き智子 武士直也
栗田一 三日市町

おくやみ

向	高	河	藤	合	明	正
館	橋	嶋	嶋	夢	美	人
奥	本	新	新	奈	一	
橋	越	谷	谷	子	香	
本	村	山	下		奈	
サ	千	本	香		子	
カ	登	高	嶋		卓	
工	世	木	水		哉	
	裕	米	能			
	輔	倉	嶋			
	子	田	菜			
		田	奈			
		高	諒			
		原	子			
		大	健			
		浦	太			
金	金	白	栗	本	本	稻
沢	沢	山	田	町	町	荷
市	市	市	市	1	5	2
4	1	1	3			
本	本	野	栗			
町	町	代	田			
4	1	3	5			



完成したあゆみを手に太平寺の社寺について語る平野氏

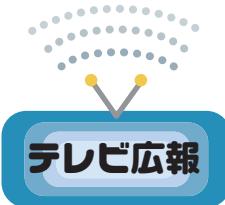
地元の歴史を伝える「太平寺のあゆみ」

11月号で、大乗寺を開山した徹通義介禅師の七百年御遠忌についてお伝えしました。その禅師ゆかりの地太平寺地区で、住民の手によって地区の歴史をまとめた「太平寺のあゆみ」が完成しました。

あゆみは、歴史や産業、行政、社寺から生活環境、風俗・習慣などの8章と町の年表などが付録となり、497ページにもわたるもので、太平寺だけではなく野々市を知る貴重なものであります。編さんきっかけは、昭和52年12月「太平寺を知る会」による太平寺の地名の由来の研究から。実際に、30年以上の活動のたまものであります。

編集委員の代表として平野義雄さんにうかがうと、「一番苦労したことは、史実として根拠となる資料を探し集めることです。長い編さん活動の中で亡くなられる委員さんもいましたが、皆さんの努力の甲斐あってようやく出版できました。本当に感謝しています。先人の苦労やありがたさを忘れないよう、多くの方々に手にとって欲しいですね」と語ってくれました。

興味のある方は平野義雄さん(248-1813)までご連絡ください。



ケーブルテレビ 9ch
のいちふれあい通信
月～金／8:00～ 8:30
18:00～18:30



FM放送 76.3MHz
マイタウンののいち
月～金／6:30～ 7:00
11:15～12:00
16:00～16:45
土／ 11:00～12:00

発行 野々市町 〒921-8510
石川県石川郡野々市町字三納18街区1番
編集 広報情報課 (毎月1回発行)

TEL (076)227-6056 **FAX** (076)227-6251
ホームページアドレス <http://www.town.nonoichi-ishikawa.jp/>
Eメールアドレス info@town.nonoichi-ishikawa.jp

